

釧路工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)	授業科目	国語
<b>科目基礎情報</b>					
科目番号	0003		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	電子工学分野		対象学年	3	
開設期	通年		週時間数	2	
教科書/教材	『新編 現代文A』(第一学習社)、『新総合 図説国語』(東京書籍)				
担当教員	小田島 本有,加藤 岳人				
<b>到達目標</b>					
コミュニケーション能力の基礎力を養い、「読む」「書く」「話す」「聴く」、それぞれの能力を総合的に生かすことができる。また、教材を通じて人類の文化にも触れ、幅広い視野に立って物事を考えることができる。					
<b>ルーブリック</b>					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	「読む」「書く」能力を十分に生かし総合的に活用することができる。	「読む」「書く」能力を一定程度生かして活用することができる。	「読む」「書く」能力を生かして活用することができない。		
評価項目2	「話す」「聴く」能力を十分に生かし総合的に活用することができる。	「話す」「聴く」能力を一定程度生かして活用することができる。	「話す」「聴く」能力を生かして活用することができない。		
評価項目3	人類の文化に触れ、幅広い視野に立って物事を考え、十分に表現することができる。	人類の文化に触れ、それなりの視野に立って物事を考え、表現することができる。	人類の文化に触れ、幅広い視野に立って物事を考え、表現することができない。		
<b>学科の到達目標項目との関係</b>					
学習・教育到達度目標 F					
<b>教育方法等</b>					
概要	あらゆる学問の根本として国語の重要性が叫ばれつつある。また、社会人に必須なものとしてコミュニケーション能力は欠かすことはできない。この授業ではその基礎力を養うことを主眼として、「読む」「書く」ことの徹底と、「話す」「聴く」ことの訓練を進めていきたい。とりわけ現代社会との関連が期待される。				
授業の進め方・方法	週3時間の授業のうち2時間は『新編 現代文A』(第一学習社)を使った授業、1時間は毎回配布されるプリントをもとに「コミュニケーション実践」の授業を展開し、敬語の習得、口頭発表の実践に充てる。なお、成績評価は定期試験(80%)、読書レポート(10%)、実践・提出物(10%)からなる総合評価とし、60点以上を合格とする。読書レポートの提出が遅れた場合、遅れた日数に応じて減点の対象とする。未提出の場合は国語の単位を認めない。再試験は前期末、後期末、学年末に実施し、60点以上を合格とする。				
注意点	教科書、ノートはもちろんのこと、この他に国語辞典、漢和辞典、図説はいつも用意して授業に臨むこと。夏休みの課題として読書レポートの提出を義務づけるが、未提出の学生には国語の単位を認めない。また、提出の遅れに対しても随時減点をしていくので注意すること。また、授業を面白くするための努力をしてほしい。授業に遅れたり、勝手に休んだりしないことはもちろんであるが、こちらからの質問にはしっかり答える姿勢を見せること。日頃きとんと努力している学生を評価したいので、提出物などはきちんと期限を守って提出すること。				
<b>授業計画</b>					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイドダンス、詩「汚れつちまつた悲しみに」(中原中也)①	中原中也の生涯を知り、詩の表現を的確に理解することができる。	
		2週	詩「汚れつちまつた悲しみに」(中原中也)②	"	
		3週	詩「永訣の朝」(宮沢賢治)①	宮沢賢治の生涯を知り、詩の表現を的確に知る。	
		4週	"②	"	
		5週	小説「こころ」(夏目漱石)①	夏目漱石の生涯を知り、小説の表現を理解することができる。	
		6週	"②	"	
		7週	"③	"	
		8週	前期中間試験を実施する		
	2ndQ	9週	小説「こころ」(夏目漱石)④	夏目漱石の生涯を知り、小説の表現を理解することができる。	
		10週	"⑤	"	
		11週	"⑥	"	
		12週	"⑦	"	
		13週	"⑧	"	
		14週	"⑨	"	
		15週	"⑩	"	
		16週	前期末試験を実施する		
後期	3rdQ	1週	小説「こころ」(夏目漱石)⑪	夏目漱石の生涯を知り、小説の表現を理解することができる。	
		2週	"⑫	"	
		3週	小説「ひよこの眼」(山田詠美)①	山田詠美の生涯を知り、小説の表現を理解することができる。	
		4週	"②	"	
		5週	"③	"	
		6週	"④	"	
		7週	"⑤	"	
		8週	後期中間試験を実施しない		

4thQ	9週	小説「ひよこの眼」(山田詠美)⑥	山田詠美の生涯を知り、小説の表現を理解することができる。
	10週	〃 ⑥	〃
	11週	小説「相棒」(内海隆一郎)①	内海隆一郎の生涯を知り、小説の表現を理解することができる。
	12週	〃 ②	〃
	13週	〃 ③	〃
	14週	〃 ④	〃
	15週	〃 ⑤	〃
	16週	後期末試験を実施する	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	国語	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。	2	
			論理的な文章(論説や評論)に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べるができる。	3	
			文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べるができる。	3	
			常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	2	
			類義語・対義語を思考や表現に活用できる。	2	
			社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。	3	
			専門の分野に関する用語を思考や表現に活用できる。	3	
			実用的な文章(手紙・メール)を、相手や目的に応じた体裁や語句を用いて作成できる。	3	
			報告・論文の目的に応じて、印刷物、インターネットから適切な情報を収集できる。	3	
			収集した情報を分析し、目的に応じて整理できる。	3	
			報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。	3	
			作成した報告・論文の内容および自分の思いや考えを、的確に口頭発表することができる。	3	
			課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。	3	
相手の立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思いや考えをまとめることができる。	3				
新たな発想や他者の視点の理解に努め、自分の思いや考えを整理するための手法を実践できる。	3				

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	80	10	0	10	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0